

早稲田大学レジリエンス研究所(WRRI) 第15回 原子力政策・福島復興シンポジウム

東日本大震災と福島原発事故から15年 ～東日本大震災と福島原子力災害の教訓と長期的災害対策～

早稲田大学は、早稲田大学レジリエンス研究所(WRRI)主催「第15回原子力政策・福島復興シンポジウム：東日本大震災と福島原発事故から15年～東日本大震災・福島原子力災害の教訓と長期的災害対策～」を、2026年3月14日(土)13:00-17:00、早稲田大学で開催します。多くの皆様の参加を呼びかけます。

■ 本シンポジウムの目的

2011年3月の東日本大震災と福島原発事故の重要な教訓は「想定外への対応」と「安全神話からの脱却」です。これらの教訓は、自然災害だけでなく原子力災害(科学技術事故災害)も含む長期的災害対策の基本とすべきものです。第15回原子力政策・福島復興シンポジウムでは、現在、早稲田大学レジリエンス研究所(WRRI)が取り組んでいる科学研究費補助金・基盤研究(B)「巨大地震予測の不確実性を踏まえた長期的災害対策と世代間公平性に関する研究」(2024年度～2027年度、研究代表者：松岡俊二)を踏まえ、東日本大震災と福島原発事故の教訓を踏まえた原子力安全規制と長期的災害対策のあり方を広く深く議論したいと考えています。

■ 開催概要

- ・日 時：2026年3月14日(土)13:00～17:00
- ・会 場：早稲田大学早稲田キャンパス19号館710教室
<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>
- ・主 催：早稲田大学レジリエンス研究所(WRRI) <https://prj-matsuoka311.w.waseda.jp>
- ・後 援：早稲田大学アジア太平洋研究センター(WIAPS)
- ・参加申込：haneka.nin@fuji.waseda.jp (お名前・所属を、事務局の任さんへメール連絡ください)
- ・問合せ先：シンポジウム事務局のメール：haneka.nin@fuji.waseda.jp

■ プログラム

総合司会：松本礼史(日本大学生物資源科学部・教授、環境経済・政策学)
竹内真司(日本大学文理学部・教授、地球科学)

13:00-13:20: 東日本大震災・福島原発事故から15年: 第15回シンポジウムの趣旨と目的

松岡俊二(早稲田大学レジリエンス研究所・所長、環境経済・政策学)

13:20-14:50: 第1部 福島原発事故の教訓と原子力安全規制について考える

13:20-14:00: 基調講演

長崎晋也(原子力規制委員会・委員、元・東京大学大学院工学系研究科・教授、原子力工学)
「福島第一原子力発電所事故の教訓と原子力安全規制の展開と課題」

14:00-14:50: 討論

西尾邦明(朝日新聞社・国際報道部・記者、元論説委員)

水野倫之(日本放送協会(NHK)・解説委員)

藤田玲子(日本原子力学会・元会長、元・東芝首席技監)

遠藤秀文(株式会社ふたば・社長、株式会社ふたばラレス・社長、技術士、福島県富岡町)

(休憩10分)

15:00-16:30: 第2部 東日本大震災の教訓と長期的災害対策について考える

15:00-15:40: 基調講演

井出 哲(東京大学大学院理学系研究科・教授、地震発生物理学)
「地震の予測はなぜ難しいか」

15:40-16:30: 討論

藤原広行(防災科学技術研究所・研究主監、地震学)

堀 高峰(海洋研究開発機構海域地震火山部門地震津波予測研究開発センター・センター長、地震学)

力丸祥子(朝日新聞社・社会部・記者)

首都直下地震対策を考える市民会議 1名

16:30-16:55: 総合討論

16:55-17:00: 閉会挨拶